

# 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.69)

## 1. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況について

豊田PCB廃棄物処理施設(豊田施設)は、安全操業によりPCB廃棄物処理を継続しており、平成21年12月の処理実績は下表のとおりです。

12月は冬期定期点検及び改修工事の実施に伴い、操業を停止しましたので、通常の月と比べ操業実績は少なくなっています。

今回は、12月22日に実施した平成21年最後の搬入の写真を掲載しました。

この搬入作業に際し豊田市による立入検査を受け、搬入・受入が適正に行われていることを確認していただきました。

平成21年12月の操業実績

| 種 別    | 受入台数  | 抜油・解体台数 |
|--------|-------|---------|
| コンデンサ類 | 262 台 | 191 台   |
| トランス類  | 大 型   | 1 台     |
|        | 小 型   | 9 台     |
|        | 車 載 型 | 1 台     |
| 廃PCB等  | 0 個   | 0 個     |

※受入後、一時保管してから計画的に処理ラインに投入するため、受入台数と抜油・解体台数に差が生じます。



豊田市立入検査のもと今年最後の搬入



受入・検査室へ搬入

## 2. PCB廃棄物の1月の受入計画について

平成22年1月の受入計画(予定)

| 種 別    | 受入台数  |      |
|--------|-------|------|
| コンデンサ類 | 442 台 |      |
| トランス類  | 大 型   | 4 台  |
|        | 小 型   | 17 台 |
|        | 車 載 型 | 2 台  |
| 廃PCB等  | 7 個   |      |

1月のPCB廃棄物の受入計画は、左表のとおりです。

コンデンサ類は、豊田市内の事業者から82台、愛知県内から320台、静岡県内から40台を受け入れる予定です。

大型・小型トランス類は、愛知県内から4台、岐阜県内から10台、三重県内から7台、車載型トランスは静岡県内から2台を受け入れ、ドラム缶に入っているPCB油(廃PCB等)は、愛知県内から7個を受け入れる予定です。

## 3. 少量保管事業者に対する説明会の開催について

弊社では、処理対象であるPCB廃棄物(トランス、コンデンサ等)の少量保管事業者を対象に、各地で『PCB廃棄物処理説明会』を開催しています。

12月3日に静岡市、14日に浜松市、15日に磐田市を対象に説明会を実施し、合わせて107社の事業者の方々にご出席いただきました。

説明会では、弊社から平成22年5月～7月の重点搬入期間に向けて、受入予定時期、契約手続き、事業者間の積み合わせ運搬等の説明を行いました。

今後も計画的に少量保管事業者向けの説明会を実施し、少量保管物にも配慮したPCB廃棄物の処理を継続してまいります。



説明会の様子(浜松市会場)

## 4. 冬期定期点検の実施

### (1)災害防止協議会の開催

豊田施設では、設備の機能維持のために平成21年度には年3回(春期・夏期・冬期)の定期点検を行いました。

今回の冬期の定期点検に先立ち、まず12月7日に弊社と点検等に携わる施工業者(計23社)で組織する『災害防止協議会』を開催し、「現場スローガン」を『安全は、黙認しない・妥協しない・放置しないの「三ない管理」から』と定めるとともに、

- ①安全対策として、工事作業者の徹底すべき注意事項
- ②安全パトロールの実施(毎週)
- ③朝と夕方に報告会議を実施
- ④作業開始前にはKY(危険予知)ミーティングを実施

等、作業管理・安全対策等について協議会員が共通認識を図るよう周知徹底を行いました。

### (2)冬期定期点検の実施

今回の定期点検は、12月11日から主な設備を停止させ始め、各設備が安全に停止したことを確認した後の14日から28日までの間に①解体設備 ②洗浄設備 ③給排気設備 ④ボイラー設備 等の点検と必要な設備の改修も行いました。

1月4日から停止していた設備を順次立ち上げ、設備の立ち上がり具合を確認しながら、8日から操業を再開する予定です。



災害防止協議会の様子



真空加熱炉の扉リング(パッキン)の交換



スクラバー・ノズルの清掃

※スクラバー:排気中に含まれるPCBをオイルで吸着し除去する装置

## 5. 安全セミナーの開催について

豊田施設では、PCB処理を安全に進めるための教育訓練の一環として、定期的に安全セミナーを開催しています。

12月17日に「玉掛け・クレーン技能訓練」と題したセミナーを開催しました。

トランス・コンデンサの受入及び残渣物の払出等、重量物の取扱作業を想定して、3名(クレーン運転士、玉掛け者、玉掛け補助者)が1組になり実技訓練を行いました。

また、講習として①手による合図、②介添ロープ等の玉掛け補助具、③ワイヤーロープの点検方法と使用期限、④クレーン運転の注意点、の再確認を行いました。

今後も定期的な実技訓練により、PCB廃棄物の一層の安全・確実な処理に努めてまいります。

※:玉掛け作業:クレーンなどにものを掛け外しする作業



玉掛け・クレーン技能訓練の様子

### 連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

(連絡先) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>